

科目名【授業題目（基礎教育科目のみ）】					講義形態																																													
予防医学					講義																																													
学期・曜日・時限		他学科履修	必修/選択	単位数	時間数																																													
春学期：木曜-2限		不可	必修	1単位	30時間																																													
担当者	大槻 剛巳 [*] ，西村 泰光 [*] ，李 順姫 [*] ，松崎 秀紀 [*] ，吉留 敬 [*] ，武井 直子 [*]																																																	
対象学科	[技術]臨床工学(3年)																																																	
授業のねらい	予防医学は、内因・外因・行動から疾病になることを防ぐ公衆衛生学ならびに病原性微生物をはじめとする外来性異物に対する生体の防御機構として重要な免疫学を包括している。それぞれについて、概略とその機序や社会的基盤を説明出来ることを目標とする。																																																	
到達目標																																																		
授業内容	公衆衛生学と免疫学を当分に実施する。教科書を含めて、随時スライドや配布資料に沿って、授業を展開する。医学医療福祉に携わる者にとって必須の基盤情報となることに留意して、受講すること。																																																	
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>[1] 公衆衛生学の総論</td> <td>4月 6日(木) 2限</td> <td>大槻 剛巳</td> </tr> <tr> <td>[2] 疫学と健康の指標</td> <td>4月13日(木) 2限</td> <td>大槻 剛巳</td> </tr> <tr> <td>[3] 感染症</td> <td>4月20日(木) 2限</td> <td>松崎 秀紀</td> </tr> <tr> <td>[4] 食品保健・栄養</td> <td>4月27日(木) 2限</td> <td>李 順姫</td> </tr> <tr> <td>[5] 中毒学</td> <td>5月11日(木) 2限</td> <td>吉留 敬</td> </tr> <tr> <td>[6] 生活環境の保全，産業保健</td> <td>5月18日(木) 2限</td> <td>大槻 剛巳</td> </tr> <tr> <td>[7] 母子保健，学校保健</td> <td>5月25日(木) 2限</td> <td>李 順姫</td> </tr> <tr> <td>[8] 医療制度，地域保健，生活習慣病と難病，精神保健，国際保健</td> <td>6月 8日(木) 2限</td> <td>大槻 剛巳</td> </tr> <tr> <td>[9] 免疫系のはたらき</td> <td>6月15日(木) 2限</td> <td>西村 泰光</td> </tr> <tr> <td>[10] 自然免疫の重要性</td> <td>6月22日(木) 2限</td> <td>武井 直子</td> </tr> <tr> <td>[11] 抗原提示のしくみ・T細胞の活性化</td> <td>6月29日(木) 2限</td> <td>武井 直子</td> </tr> <tr> <td>[12] 抗原の多様性に対応するしくみ</td> <td>7月 6日(木) 2限</td> <td>西村 泰光</td> </tr> <tr> <td>[13] 自己と非自己の識別・過敏症</td> <td>7月13日(木) 2限</td> <td>西村 泰光</td> </tr> <tr> <td>[14] 感染症・腫瘍免疫・移植免疫・ワクチン</td> <td>7月20日(木) 2限</td> <td>松崎 秀紀</td> </tr> <tr> <td>[15] 免疫不全症・生物学的製剤，免疫学の応用</td> <td>7月27日(木) 2限</td> <td>西村 泰光</td> </tr> </table>					[1] 公衆衛生学の総論	4月 6日(木) 2限	大槻 剛巳	[2] 疫学と健康の指標	4月13日(木) 2限	大槻 剛巳	[3] 感染症	4月20日(木) 2限	松崎 秀紀	[4] 食品保健・栄養	4月27日(木) 2限	李 順姫	[5] 中毒学	5月11日(木) 2限	吉留 敬	[6] 生活環境の保全，産業保健	5月18日(木) 2限	大槻 剛巳	[7] 母子保健，学校保健	5月25日(木) 2限	李 順姫	[8] 医療制度，地域保健，生活習慣病と難病，精神保健，国際保健	6月 8日(木) 2限	大槻 剛巳	[9] 免疫系のはたらき	6月15日(木) 2限	西村 泰光	[10] 自然免疫の重要性	6月22日(木) 2限	武井 直子	[11] 抗原提示のしくみ・T細胞の活性化	6月29日(木) 2限	武井 直子	[12] 抗原の多様性に対応するしくみ	7月 6日(木) 2限	西村 泰光	[13] 自己と非自己の識別・過敏症	7月13日(木) 2限	西村 泰光	[14] 感染症・腫瘍免疫・移植免疫・ワクチン	7月20日(木) 2限	松崎 秀紀	[15] 免疫不全症・生物学的製剤，免疫学の応用	7月27日(木) 2限	西村 泰光
[1] 公衆衛生学の総論	4月 6日(木) 2限	大槻 剛巳																																																
[2] 疫学と健康の指標	4月13日(木) 2限	大槻 剛巳																																																
[3] 感染症	4月20日(木) 2限	松崎 秀紀																																																
[4] 食品保健・栄養	4月27日(木) 2限	李 順姫																																																
[5] 中毒学	5月11日(木) 2限	吉留 敬																																																
[6] 生活環境の保全，産業保健	5月18日(木) 2限	大槻 剛巳																																																
[7] 母子保健，学校保健	5月25日(木) 2限	李 順姫																																																
[8] 医療制度，地域保健，生活習慣病と難病，精神保健，国際保健	6月 8日(木) 2限	大槻 剛巳																																																
[9] 免疫系のはたらき	6月15日(木) 2限	西村 泰光																																																
[10] 自然免疫の重要性	6月22日(木) 2限	武井 直子																																																
[11] 抗原提示のしくみ・T細胞の活性化	6月29日(木) 2限	武井 直子																																																
[12] 抗原の多様性に対応するしくみ	7月 6日(木) 2限	西村 泰光																																																
[13] 自己と非自己の識別・過敏症	7月13日(木) 2限	西村 泰光																																																
[14] 感染症・腫瘍免疫・移植免疫・ワクチン	7月20日(木) 2限	松崎 秀紀																																																
[15] 免疫不全症・生物学的製剤，免疫学の応用	7月27日(木) 2限	西村 泰光																																																
評価方法	[定期試験] 100% [備考] 公衆衛生領域（前半8回）と免疫領域（後半7回）は、人の集団から始まって、細胞遺伝子レベルまでの生体防御機構であり「予防医学」を網羅的に統括する内容です。当惑しないようにしっかり学習しましょう。																																																	
テキスト	清水忠彦，佐藤拓代『わかりやすい公衆衛生学』（ヌーヴェルヒロカワ）(2010) 市川 厚，田中 智之『わかりやすい免疫学』（廣川書店）(2008) その他テキスト：公衆衛生学領域・免疫学領域それぞれでテキストを指定します。授業内容はテキストに準拠いたしますので、両方のテキストを揃えてください。将来共に役立つ内容です。																																																	
参考書	矢田 純一『医系免疫学』（中外医学社）(2013) 鈴木 庄亮（編さん），久道 茂（編さん）『シンプル衛生公衆衛生学 2015』（南江堂）(2015)																																																	
準備学習等	公衆衛生学領域・免疫学領域それぞれでテキストを指定します。授業内容はテキストに準拠いたしますので、両方のテキストを揃えてください。将来共に役立つ内容です。授業の前に該当領域を熟読しておいてください。																																																	
担当教員からのメッセージ	公衆衛生学領域・免疫学領域それぞれでテキストを指定します。授業内容はテキストに準拠いたしますので、両方のテキストを揃えてください。																																																	

将来共に役立つ内容です。両領域ともに、医学医療福祉に携わる者の基盤となる学問ですので、心して学習してください。

オフィス・アワー

医大教員は、授業枠その他が不定期になっています。基本的には、金曜日午後をオフィス・アワーと設定しますが、学会その他の所用で留守な場合もあります。何か連絡がある場合には、あるいは、どの授業担当者に対しても、takemi@med.kawasaki-m.ac.jp までメールをください。その後、担当教員から連絡を入れます。

ウィンドウを閉じる